



KUMAMOTO GREEN Rotary-Club bulletin



2014-
2015年度
テーマ

- 国際ロータリー 「ロータリーに輝きを」 R.I. 会長 ゲイリー C.K. ホアン
- 地区方針 「ロータリーを学び直し 新たな第一歩を踏みだそう」 R.I. 2720 地区 ガバナー 小山 康直
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーを知ろう」 熊本グリーンR.C. 会長 田中 純司

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中 純司 ■幹事：菅 孝之 ■会報担当：長野 義文
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2014年9月29日】

第1147回
 2014-2015年度 第10回
 【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

「奉仕の理想」(ロータリーソング)

来訪者紹介

■ 熊本市域 R.C

熊本東 R.C	山崎 勝 会員
熊本北 R.C	倉田 榮喜 会員
	白石 正英 会員
	中川 信三 会員
	中島三千代 さん
熊本水前寺公園 R.C	小糸 興起 会員

友情の握手

会長スピーチ (田中 純司 会長)

今日は、外部卓話として、先ほどご紹介しましたが、熊本北警察署の吹原直也署長にお願いしました。現職でのお話を伺う機会はなかなか無いと思います。改めまして、宜しくお願ひ致します。

今週は、ロータリアンの行動の指針として例会場に掲げてある「四つのテスト」について、我がグリーンロータリークラブ発刊の「ロータリー情報集」からお話します。

◆四つのテスト The Four-Way Test

ロータリアンの行動の指針として推奨されているもので、「規則」として取り扱ってはならない。また、公共の人間関係をより高める場合を除いて、販売や利益を増すための広告に利用してはならない。

○四つのテスト、言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

1932年ハーバート・テラーが倒産寸前の会社を救済する方法として創案したもので非常に効果的な方法であることが分かり、'43年1月RI理事会はロータリーに採用を決定、'46年テラーがロータリーの使用権を認め、'54年に版權をRIに無償で移譲した。また'76年4月からRIの版權は失効している。

ロータリークラブの指針となる原則は、善良な成人であって、職業上良い世評を受けている者によって構成される。および、「四つのテスト」である。とされている。(2007年規定審議会)

以上、会長挨拶とします。



pic.ta.jp - 6788762

卓話
予定

- 10/6 「観月例会」(於:中華園) ★趙健次会員送別会も兼ねます。
- 10/13 祝日(体育の日)の為、例会取り止め
- 10/20 米山奨学生卓話 張炳昌(チャン ピョン チャン)氏(国籍:韓国)
- 10/27 「日系・婦人保護施設 慶州ナザレ園」熊本第2グループガバナー補佐 丸埜昭三氏

[熊本グリーンR.C.ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

幹事報告 (山下 佳介 元会長)

■ 報告事項

①松本ガバナー補佐より「熊本第3グループ合同ガバナー公式訪問」のお礼状と決算報告が届いております。

■ 例会取止め・変更

<例会変更>

★熊本城東RC

10月6日(月)の例会は、観月例会のため、同日18:30よりANAホテルニュースカイにて行います。

★熊本東南RC

10月15日(水)の例会は、職場訪問例会のため、同日昼あおば病院にて行います。

★熊本南RC

10月20日(月)の例会は、観月会例会のため、同日18:30よりホテル日航7Fガーデンバンケットにて行います。

★熊本りんどうRC

10月30日(木)の例会は、職場訪問のため、同日12:30より高遊原分屯地にて行います。

★熊本平成RC

10月22日(水)の例会は、仙台被災地視察のため、10月25日(日)名取市関上近くにて行います。

<例会取止め>

次の例会は、定款第6条第1節に基づき、取り止めます。

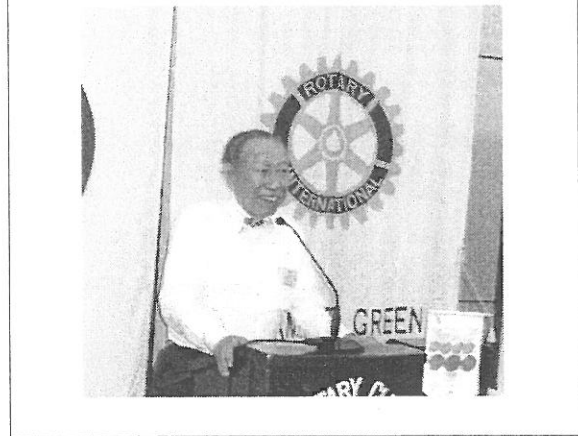
【熊本中央RC】 10月17日(金)

出席報告 (河島 一夫 会)

	会員総数	26名	出席率
9月29日	出席免除会員数	4名	59.09%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	13名	
9月15日	前回の出席会員数		休会
	メイクアップ数		
	修正出席会員数		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			

その他の報告

山崎勝パストガバナー挨拶



スマイル (松村 秀逸 会員)

●山崎 勝 君(熊本東RC)

「吹原直也熊本北警察署長様の卓話ありがとうございます。」

●倉田 榮喜 君(熊本北RC)

「本日、貴クラブの例会に参加させて頂き、吹原直也熊本北警察署長の卓話を拝聴させて頂きことに感謝のスマイルです。」

●白石 正英 君(熊本北RC)

「今週の花はヒガンバナです。花言葉は忍耐だそうです。私もヒガンバナにならないければ!!吹原様の卓話にスマイルです。」

●中川 信三 君(熊本北RC)

「いつもゴルフで遊んで頂いて有難うございます。本日の吹原北警察署長様の卓話を拝聴できますことに感謝のスマイルです。」

●田中 純司 君

「熊本北警察署々長、吹原様本日の卓話ありがとうございます。山崎パストガバナーをはじめ、熊本北ロータリークラブの皆様ご来訪歓迎致します。」

●中島 光司 君

①「本日の卓話者、吹原直也熊本北警察署長様のご来訪に感謝致します。卓話楽しみにしています。」

②「ジャイアンツは優秀して万歳ですが、ソフトバンクの様子がおかしいですね。日本シリーズはジャイアンツとソフトバンクでお願いしたいのですが。」

●上田 観一 君

①「本日の卓話者、熊本北警察署長の吹原直也様を歓迎致します。本日の卓話楽しみにしていました。」

②「山崎パスタガバナーをはじめ、熊本北RCの白石会長をはじめ沢山のご出席ありがとうございます。」

●大友 利行 君

①「本日の卓話者、吹原様の御来訪に感謝致します。」

②「残念ながら所用で早退致します。スマイルでお詫びします。」

●松村 秀逸 君

①「ロータリー農園の草取りを蒼会員の息子様が土曜日にして頂きました。感謝してスマイル致します。」

②「本日の卓話者吹原様に心から感謝し、スマイル致します。」

●河島 一夫 君

「熊本北警察署長、吹原直也様の御来訪に感謝致します。卓話を楽しみにしております。又、熊本北RCのゴルフの面々、ようこそいらっしゃいました。又、ゴルフコンペの時によるしくお願い致します。」

●荒木 一之 君

「本日の卓話者、熊本北警察署長の吹原直也様に心から感謝致します。」

●葉 高源 君、河野 景治 君、仙波 洋八 君

「今日の卓話者、熊本北警察署長の吹原直也様に感謝致します。」

3. 例会プログラム

紹介者 中島 光司 会員

卓話者 熊本北警察署長 吹原 直也 様

演題

「警察組織内におけるコンプライアンス対策」



【卓話者紹介】

氏名 吹原 直也 氏

年齢 S30.1.1(59歳)

出身地 旧牛深市牛深町(小・中学まで地元)

演題 組織の「コンプライアンス」対策について



(沢山の来訪者がありました)

<卓話要旨>

本日は、熊本北署管内等の犯罪情勢等とかの一般的な内容ではなく、部外の方々があまり触れることのない(或いは関心事項ではない)警察組織内において、如何にして県民・市民からの信頼を構築していくために、平素から警察部内において地味ながらも職員に対して指導している内容について少しお話をさせていただきます。

<卓話骨子>

- 効果的な警察活動の基盤
～住民・市民の信頼・協力意識のレベルに左右される「県警察の運営方針～県民の期待と信頼に応える強い警察」
- 今の警察を語る時に大きな転機となった時期
～いわゆる警察改革の推進～(平成12年)
(警察改革とは何かについて)
- 現実の警察組織の運営状況
どこに重点がおかれているか
如何にして警察活動に対するよりしつかりとした信頼感を醸成できるか
- 組織内におけるコンプライアンスの問題
 - ・不適正事案防止に向けた様々な取組み
～業務管理、人事管理、職務倫理～
 - 組織内における人材の育成
 - ・おいこら！ 巡査の印象からの脱却
 - ・一般市民の方々との適正な距離感認識
 - ・大量退職・大量採用時期におけるピンチとチャンス
 - 多様化する事件・事故への迅速・的確な対応
- これからの警察活動を支えていくものは何か
活字にすると堅苦しい表現が並んでますが、話す内容については、よりシンプルな中身です。
部外の方々が、警察に抱くイメージを少しでも親近感を感じていただける様にすることが本日の卓話をさせていただくことの大きな意義であります。



ROTARY LEADER ローターリーリーダー

私たちの財団

「世界でよいこと」を計画中の方へ

新しい資金モデルの下で グローバル補助金を申請するために

2015年7月1日から、ロータリー財団の新しい資金モデルが有効となります。このモデルは、グローバル補助金の申請にどのように影響するでしょうか？

例えば、ある地区が、ウガンダで水プロジェクトを実施するために45,000ドルのグローバル補助金を活用する計画を立てているとします。DDF（地区財団活動資金）には新しい資金モデルの影響がないため、DDFのみを使用する場合は、これまでと特に変わりはありません。

一方、提唱者が現金を拠出する場合、この拠出金はいわゆる「通過寄付」となり、手続きの費用として提唱者拠出金の5%が必要となります。例えば、45,000ドルのグローバル補助金のために、30,000ドルを現金で拠出し、WFからの上乗せ15,000ドルを申請する場合、提唱者は追加の1,500ドル（30,000ドルの5%）と合わせて31,500ドルを支払う必要があります。これまでと同じく、グローバル補助金提唱者からのDDFには国際財団活動資金（WF）から同額が上乗せされ、現金拠出の場合にはその半額が上乗せされます。また、DDFを使用した場合の手続きにかかる時間は平均5週間ですが、現金の場合は平均8週間。つまり、DDFを使えば、プロジェクトにもっと多くの資金が、もっと早く活用できることとなります。

現金拠出の5%を手続きの費用に充てるのには、理由があります。ロータリー財団財務委員長を務めるイアン・ライズ¹リー管理委員は、その理由を次のように述べています。「補助金への提唱者拠出金は、3年間のシェア周期による投資を経ません。このため、手続きにかかる費用を投資収益で賄うことができないのです」詳しくは、ロータリー財団の新しい資金モデル:知っておくべき10のポイントをご参照ください。

DDFと現金の両方をグローバル補助金に拠出する場合も、それぞれについて前記と同じルールが適用されます。

オンラインの補助金申請ツールにも近日中に修正が加えられ、提唱者の現金拠出に必要な合計額が自動的に算出、表示されるようになる予定です。グローバル補助金の申請をご計画のクラブと地区は、オンラインシステムにこのような更新があることにご留意ください。ご質問は、fundingmodel@rotary.orgまで。